

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月27日

上場会社名 川崎設備工業株式会社

上場取引所 名

コード番号 1777 URL <http://kawasaki-sk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 嗣郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 坂部 彰一

TEL 052-221-7700

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	8,059	15.6	237	64.5	243	64.3	196	21.7
22年3月期第2四半期	6,969	△17.2	144	△12.0	148	1.3	161	283.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	16.38	—
22年3月期第2四半期	13.46	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	11,087	3,238	29.2	270.43
22年3月期	12,608	3,086	24.5	257.68

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 3,238百万円 22年3月期 3,086百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期	—	0.00			
23年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	18.7	380	△2.7	330	△10.6	300	△1.1	25.05

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	12,000,000株	22年3月期	12,000,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	25,005株	22年3月期	24,065株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	11,975,142株	22年3月期2Q	11,976,760株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第2四半期累計期間】	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績に回復の兆しが見られたものの、厳しい雇用情勢やデフレ、円高進行の影響を受け、先行き不透明な状況が続きました。

建設業界におきましても、設備投資の低迷や価格競争の激化などにより、厳しい経営環境でした。

このような状況の中で、当社は、黒字安定経営継続のための受注目標達成等の目標に向け事業活動を展開してまいりました。

その結果、受注高につきましては、65億55百万円（前年同期比30.8%減）となりました。工事種別では、一般ビル工事は、学校工事等の減少により42億95百万円（前年同期比40.4%減）、産業施設工事は研究施設の減少により17億74百万円（前年同期比3.3%減）、電気工事は工場関連施設工事の増加により4億85百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

完成工事高につきましては、80億59百万円（前年同期比15.6%増）となりました。工事種別では、一般ビル工事は交通施設工事の増加により63億5百万円（前年同期比36.9%増）、産業施設工事および電気工事は工場関連施設工事の減少により、それぞれ13億63百万円（前年同期比26.9%減）、3億91百万円（前年同期比21.5%減）となりました。

損益面につきましては、完成工事高増加による利益増、工事原価管理・工物品質管理の徹底による工事原価削減により、第2四半期累計期間の経常利益は2億43百万円（前年同期比64.3%増）となり、特別損失として投資有価証券評価損を計上したことにより四半期純利益は1億96百万円（前年同期比21.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ15億21百万円減少し110億87百万円となりました。主な減少理由は、完成工事未収入金の減少によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ16億74百万円減少し78億48百万円となりました。主な減少理由は、短期借入金及び未成工事支出金の減少によるものであります。

純資産は、四半期純利益の計上等により前事業年度末に比べ1億52百万円増加し、32億38百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年4月28日発表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響はありません。

(損益計算書に関する表示方法の変更)

前第2四半期累計期間において、独立掲記しておりました営業外費用の「売上債権売却損」は、その金額が営業外費用合計の100分の20以下となったため、営業外費用の「その他」に含めて表示しております。なお、営業外費用の「その他」に含まれている「売上債権売却損」は、1,256千円であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,305,237	1,224,469
受取手形	1,244,127	942,203
完成工事未収入金	3,372,900	4,906,192
未成工事支出金	1,419,676	1,505,204
その他	205,503	455,464
貸倒引当金	△52,500	△68,500
流動資産合計	7,494,944	8,965,035
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,341,282	1,377,195
土地	1,720,934	1,721,349
その他(純額)	62,884	52,798
有形固定資産計	3,125,101	3,151,344
無形固定資産	101,996	81,979
投資その他の資産		
その他	760,882	808,738
貸倒引当金	△395,916	△398,636
投資その他の資産計	364,965	410,102
固定資産合計	3,592,063	3,643,426
資産合計	11,087,007	12,608,461
負債の部		
流動負債		
支払手形	2,034,977	2,078,085
工事未払金	2,716,990	2,821,477
短期借入金	—	1,232,000
未払法人税等	19,066	31,770
未払消費税等	43,471	100,363
未成工事受入金	921,615	1,300,312
役員賞与引当金	—	6,410
賞与引当金	139,013	139,027
完成工事補償引当金	60,995	62,025
工事損失引当金	106,824	167,373
その他	178,456	693,671
流動負債合計	6,221,409	8,632,516
固定負債		
長期借入金	700,000	—
退職給付引当金	794,470	804,034
環境対策引当金	9,203	9,383
その他	123,512	76,515
固定負債合計	1,627,186	889,933
負債合計	7,848,595	9,522,449

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,581,000	1,581,000
資本剰余金	395,250	395,250
利益剰余金	1,250,389	1,090,177
自己株式	△5,486	△5,381
株主資本合計	3,221,152	3,061,046
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,258	24,965
評価・換算差額等合計	17,258	24,965
純資産合計	3,238,411	3,086,011
負債純資産合計	11,087,007	12,608,461

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
完成工事高	6,969,641	8,059,993
完成工事原価	6,203,552	7,205,173
完成工事総利益	766,089	854,819
販売費及び一般管理費	621,981	617,818
営業利益	144,107	237,001
営業外収益		
受取配当金	2,423	2,473
不動産賃貸料	—	3,517
貸倒引当金戻入額	32,850	19,319
賠償金未払戻入額	—	10,000
その他	1,453	2,903
営業外収益合計	36,727	38,213
営業外費用		
支払利息	19,510	16,474
ゴルフ会員権評価損	—	3,600
不動産賃貸費用	—	3,880
売上債権売却損	4,484	—
その他	8,587	7,624
営業外費用合計	32,583	31,579
経常利益	148,251	243,635
特別利益		
貸倒引当金戻入額	32,222	—
特別利益合計	32,222	—
特別損失		
減損損失	5,109	—
投資有価証券評価損	—	34,691
特別損失合計	5,109	34,691
税引前四半期純利益	175,365	208,943
法人税等	14,147	12,803
四半期純利益	161,217	196,140

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。